東北地方太平洋沖地震

5年　青木啓樹

ぼくは、地震はとてもこわいと思いました。

特に、地震のあとにある津波がありとてもいやだと感じました。

学校では、授業の途中で大きな地震がおきて先生が机の中にかくれろと言う指示を出しました。

ぼくたちは、かくれました。とても時間が長くて学校がこわれそうでした。でもこれに比べたら東北の人たちはもっと強い地震が来てさらには、海ぞいは大きな津波で家がのみこまれたり人がおぼれてしまいという話をニュースで見てとてもビックリしました。

そのあともたくさんの余震が来て、ぼくたちは学校の外に逃げました。でもぼくたちはそれですんでよかったと思います。東北の人たちは、もっといやな思いや悲しいことがありとてもかわいそうです。家も街もないことをニュースで見ていました。本当に、可哀そうだと思います。そのために、ぼくたちも東

北の人たちをたすけるために節電などをしておうえんをしたいとそう思っています。

野球の練習もなく大会は、中止になりました。でもぼくたちは、被害が少ないのでキャッチボールぐらいはできます。でも東北の人たちは寒い中電気のない中くらしているのでいへんだと思います。

野球の練習どころではありません。とてもたいへんだと思います。

それでもみんなで、協力しあっていい国にしたいです。日本がよくなってから東北の人たちみんなで試合ができるようになりたいです。

20 × 20